



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田堂 哲志
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 持田 由希子 (TEL) 06-6455-9140
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	254,444	△3.4	37,959	18.4	35,611	5.7	16,607	25.1
28年3月期第2四半期	263,270	106.9	32,053	104.3	33,689	47.6	13,279	△14.9

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期△36,637百万円(-%) 28年3月期第2四半期 25,103百万円(62.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年12月期第2四半期	51	79	51	78
28年3月期第2四半期	41	41	41	41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	735,720	525,558	58.8
28年3月期	791,459	567,748	59.3

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 432,268百万円 28年3月期 469,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00	
28年12月期	—	20.00				
28年12月期(予想)			—	20.00	40.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	467,000	—	70,000	—	69,000	—	30,000	—	93	54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成28年6月28日開催の第191回定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、平成28年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間となる平成28年12月期は、当社ならびに3月決算の子会社につきましては、平成28年4月1日から平成28年12月31日の9ヶ月間を連結対象期間としています。なお、12月決算の子会社につきましては、従来どおり、平成28年1月1日から平成28年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としています。

このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	325,402,443株	28年3月期	325,402,443株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	4,697,534株	28年3月期	4,696,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	320,705,506株	28年3月期2Q	320,707,337株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、為替水準の変動影響を受け、連結売上高は2,544億44百万円（前年同期比3.4%減）となるなか、継続した原価低減活動の成果等により円高影響を吸収し、連結営業利益は379億59百万円（前年同期比18.4%増）、連結経常利益は、外貨建て資産について円高による為替差損を計上したものの356億11百万円（前年同期比5.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、166億7百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

なお、当社は、平成28年6月28日開催の第191回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。

これに伴い、当連結会計年度は、平成28年4月1日から平成28年12月31日までの9ヶ月間となっております。

当第2四半期連結累計期間の対象期間は、当社及び3月決算であった連結対象会社は平成28年4月から9月までの6ヶ月間、12月決算の海外連結対象会社は平成28年1月から6月までの6ヶ月間であります。

セグメントの状況は次のとおりであります。

《日本》

当地域では、熊本地震の影響などにより自動車生産台数が減少するなか、シェア拡大に努めた結果、自動車用塗料の売上高は前年同期を上回りました。工業用塗料については、市況の回復に伴い、建築資材向け塗料の出荷が増加したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高は、市況が低調に推移するなか、販売促進活動に努めた結果、前年同期並となりました。一方、市況悪化の影響を受けた船舶用塗料を中心とするその他塗料の売上高は前年同期を大きく下回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は842億1百万円（前年同期比2.4%減）となりました。また、前年同期に海外グループ会社からの特別配当158億96百万円を計上していることから、連結営業利益は161億85百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

なお、この受取配当金は内部取引として全額「セグメント間取引消去その他の調整額」として消去されます。

《アジア》

当地域では、中核地域である中国において、自動車生産台数が増加したことなどから自動車用塗料の売上高は前年同期を上回りました。汎用塗料については、中国を中心に住宅内装用塗料の売上高が堅調に推移した一方で、為替影響により、売上高は前年同期を下回りました。また、タイの自動車用塗料については、シェア拡大に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

その結果、当地域セグメントの連結売上高は1,466億61百万円（前年同期比6.3%減）となりましたが、継続した原価低減活動の成果もあり、連結営業利益は192億27百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

《米州》

当地域では、北米における自動車生産台数が増加したことや、中南米における事業が本格化したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。また、継続した原価低減活動の成果もあり、収益性が大幅に改善しました。

その結果、当地域セグメントの連結売上高は168億64百万円（前年同期比3.4%増）に、連結営業利益は30億16百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

《その他》

当地域では、2015年度第2四半期からドイツの自動車用塗料メーカーを連結子会社化したことに伴い、連結売上高は67億16百万円（前年同期比58.8%増）、連結営業損益はのれんの償却負担もあり、1億29百万円の損失（前年同期は41百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して557.4億円減少し、7,357億20百万円となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して66.6億円減少しておりますが、主な要因は、現金及び預金、売上債権が増加した一方で、たな卸資産や有価証券が減少したことなどによるものです。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して490.8億円減少しておりますが、主な要因は、償却に伴うのれんの減少などによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して135.5億円減少し、2,101億61百万円となりましたが、主な要因は、仕入債務や有利子負債、繰延税金負債が減少したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して421.9億円減少し、5,255億58百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が円高の影響により減少したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の59.3%から58.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間は、営業活動により351億66百万円の収入、投資活動により36億92百万円の支出、財務活動により65億26百万円の支出があり、結果として現金及び現金同等物（以下「資金」という）は1,225億55百万円となり、前連結会計年度末より142.8億円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は、351億66百万円（前年同期比214.5億円増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非現金支出費用等を加味したキャッシュ・フロー収入（運転資本の増減を除く）を580億81百万円計上するなか、中国連結子会社における前連結会計年度末での売上債権早期回収に伴う当第2四半期連結会計期間末の売上債権の大幅な増加等、運転資本の増加による資金の減少128億30百万円、法人税等の支払いなど100億84百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は、36億92百万円（前年同期比35.7億円減）となりました。主な要因は、有価証券の減少により98億88百万円の収入があった一方で、有形固定資産の取得やインドの事業譲受による支出109億14百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による支出は、65億26百万円（前年同期比21.3億円増）となりました。主な要因は、配当金の支払いに73億71百万円を支出したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、円高による為替影響を大きく受け、売上高・利益ともに平成28年5月12日に発表した予想を下回る見通しです。

売上高について、為替影響を除く実質売上高は、中国事業が計画どおりの前年比伸び率を維持したものの、シェア拡大を意図した販売インセンティブ等の影響もあり、予想を下回る見通しです。

利益につきましては、継続的な原価低減により、収益率を大きく改善するなか、外貨建て資産等に係る為替評価損の影響等により、予想を下回る見通しです。

以上を踏まえ、前回発表した通期業績予想を次のとおり修正いたします。

なお、当社は、当年度、決算期を変更し、当社ならびに3月決算の子会社については9ヶ月決算となりますが、12ヶ月ベースで換算した営業利益については、当初予想を上回る見通しです。

平成28年12月期 通期連結業績予想数値(平成28年4月1日～平成28年12月31日)(9ヶ月)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表数値(A)	500,000	71,000	74,000	34,000
今回修正予想(B)	467,000	70,000	69,000	30,000
増減額(B-A)	△33,000	△1,000	△5,000	△4,000
増減率(%)	△6.6	△1.4	△6.8	△11.8

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、定率法(但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については定額法)、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社につきましても定額法に変更しております。

当社グループは、平成26年末のアジア合弁会社の一部連結子会社化など近年の海外への積極的な事業展開を踏まえて、前連結会計年度に新たな新中期経営計画「サバイバル・チャレンジ ステージⅢ」を策定し、その過程において固定資産の償却方法についての見直し作業を実施いたしました。

当社及び国内連結子会社では、これまで増加傾向にあった国内塗料需要を取り込むために、生産量の増産対応の設備投資を行ってまいりましたが、国内塗料需要はリーマン・ショック以降、一定の成長率を維持しながらも概ね安定的に推移する傾向にあり、既存の国内生産設備は、今後も稼働状況が安定していくことが見込まれております。そのため、新たな国内生産設備に関する投資を汎用性が高く長期にわたり平均的かつ安定的に稼働する設備に限定しており、定額法による減価償却の方法を採用することが経済実態をより適切に反映する費用配分方法であると判断いたしました。

これにより、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が224百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ220百万円増加しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,941	127,200
受取手形及び売掛金	140,748	143,734
有価証券	31,783	17,835
たな卸資産	53,119	48,327
繰延税金資産	6,247	6,217
その他	18,089	13,010
貸倒引当金	△3,283	△3,341
流動資産合計	359,646	352,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,711	40,139
その他(純額)	60,589	59,216
有形固定資産合計	104,300	99,356
無形固定資産		
のれん	183,750	155,030
商標権	49,578	41,335
その他	49,902	42,395
無形固定資産合計	283,231	238,762
投資その他の資産		
投資有価証券	39,260	38,471
繰延税金資産	1,816	2,943
その他	3,380	3,374
貸倒引当金	△176	△172
投資その他の資産合計	44,280	44,617
固定資産合計	431,812	382,735
資産合計	791,459	735,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,769	66,485
電子記録債務	12,187	14,315
短期借入金	20,548	15,463
未払法人税等	10,020	9,661
その他	60,043	57,026
流動負債合計	173,568	162,952
固定負債		
長期借入金	1,684	3,602
繰延税金負債	23,836	20,106
役員退職慰労引当金	126	130
環境対策引当金	328	292
退職給付に係る負債	16,343	15,373
その他	7,822	7,703
固定負債合計	50,141	47,209
負債合計	223,710	210,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,862	78,862
資本剰余金	63,451	63,451
利益剰余金	339,113	349,307
自己株式	△6,439	△6,442
株主資本合計	474,989	485,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,078	6,358
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△9,533	△56,770
退職給付に係る調整累計額	△3,000	△2,500
その他の包括利益累計額合計	△5,455	△52,910
新株予約権	39	70
非支配株主持分	98,176	93,219
純資産合計	567,748	525,558
負債純資産合計	791,459	735,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	263,270	254,444
売上原価	155,896	144,075
売上総利益	107,374	110,368
販売費及び一般管理費	75,320	72,409
営業利益	32,053	37,959
営業外収益		
受取利息	463	503
受取配当金	461	441
持分法による投資利益	431	823
その他	1,898	1,551
営業外収益合計	3,256	3,320
営業外費用		
支払利息	153	241
為替差損	487	4,994
その他	978	432
営業外費用合計	1,619	5,668
経常利益	33,689	35,611
特別利益		
固定資産売却益	8	124
投資有価証券売却益	0	54
特別利益合計	8	178
特別損失		
固定資産除売却損	154	159
その他	9	15
特別損失合計	164	175
税金等調整前四半期純利益	33,533	35,615
法人税等	11,106	9,462
四半期純利益	22,426	26,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,147	9,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,279	16,607

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	22,426	26,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,938	△680
繰延ヘッジ損益	△9	3
為替換算調整勘定	5,280	△61,250
退職給付に係る調整額	123	510
持分法適用会社に対する持分相当額	219	△1,373
その他の包括利益合計	2,676	△62,790
四半期包括利益	25,103	△36,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,539	△30,847
非支配株主に係る四半期包括利益	10,563	△5,790

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,533	35,615
減価償却費	7,913	7,198
のれん償却額	5,110	4,794
受取利息及び受取配当金	△925	△945
支払利息	153	241
持分法による投資損益(△は益)	△431	△823
有形固定資産除売却損益(△は益)	146	34
売上債権の増減額(△は増加)	△19,395	△19,103
たな卸資産の増減額(△は増加)	△834	△906
仕入債務の増減額(△は減少)	△372	7,179
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△724	△177
その他	1,544	10,815
小計	25,717	43,923
利息及び配当金の受取額	991	1,580
利息の支払額	△152	△252
法人税等の支払額	△14,989	△14,650
法人税等の還付額	2,145	4,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,711	35,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	2,782	9,888
有形固定資産の取得による支出	△9,133	△7,818
有形固定資産の売却による収入	116	448
投資有価証券の取得による支出	△189	△599
事業譲受による支出	—	△3,096
その他	△840	△2,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,264	△3,692
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,561	△3,154
長期借入れによる収入	308	3,116
長期借入金の返済による支出	△3,833	△433
リース債務の返済による支出	△230	△206
配当金の支払額	△3,848	△6,414
非支配株主への配当金の支払額	△7,338	△957
非支配株主からの払込みによる収入	—	1,514
その他	△11	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,393	△6,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	200	△10,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,253	14,283
現金及び現金同等物の期首残高	78,702	108,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,955	122,555

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を適用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、のれん11,753百万円及び資本剰余金14,886百万円が減少するとともに、利益剰余金が3,008百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	86,265	156,461	16,313	259,040	4,230	263,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,812	2,797	87	29,697	533	30,230
計	113,078	159,258	16,400	288,737	4,763	293,501
セグメント利益	29,732	16,048	2,495	48,276	41	48,317

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	48,276
「その他」の区分の利益	41
セグメント間取引消去その他の調整額	△16,264
四半期連結損益計算書の営業利益	32,053

(注) 当第2四半期連結累計期間の「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、企業結合会計基準、連結会計基準及び事業分離等会計基準等を適用したことにより、のれんの金額が減少しております。当該事象により、のれんは、第1四半期連結会計期間の期首においては、日本セグメントで10,475百万円、アジアセグメントで1,277百万円それぞれ減少しております。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	254,418	112.6
自動車用	65,753	45.8
汎用	125,727	432.8
工業用	33,905	46.0
その他塗料	29,031	4.6
ファインケミカル	8,852	16.9
合計	263,270	106.9

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	84,201	146,661	16,864	247,727	6,716	254,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,245	1,892	120	12,258	486	12,745
計	94,447	148,554	16,985	259,986	7,203	267,189
セグメント利益又は損失(△)	16,185	19,227	3,016	38,429	△129	38,300

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	38,429
「その他」の区分の損失(△)	△129
セグメント間取引消去その他の調整額	△340
四半期連結損益計算書の営業利益	37,959

(注) 当第2四半期連結累計期間の「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
(減価償却方法の変更)

「(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法の変更を行っております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、日本セグメントで224百万円増加しております。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	245,530	△3.5
自動車用	70,099	6.6
汎用	116,673	△7.2
工業用	33,747	△0.5
その他塗料	25,010	△13.9
ファインケミカル	8,914	0.7
合計	254,444	△3.4

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。